



DocAve® Governance Automation

サービス パック (SP) 4

リリース ノート

リリース日: 2014 年 1 月 14 日

Governance Automation SP4 のアップデート詳細

Governance Automation のアップデートを実行する場合は、[Governance Automation ユーザーガイド \(管理者用\)](#) 内 **Governance Automation のアップデート** セクションに記載されたステップを参照してください。

以下のテーブルは、Governance Automation SP4 の新機能のうち重要な更新部分の詳細となります。

直接アップデートに必要な最低バージョン	Governance Automation SP4 への直接アップデートを実行するには、Governance Automation SP3 が必要となります。
対応 SharePoint バージョン	SharePoint 2013 (Online およびオンプレミス) SharePoint 2010 (Online およびオンプレミス)
他の AvePoint 製品との依存関係	対応するプラットフォームのバージョンの対応マトリクスについては、AvePoint KB の記事 Governance Automation, DocAve, SharePoint, and SnapManager for SharePoint Support Matrix を参照してください (英語)。
新規ライセンス	不要
IIS のリセット	不要
マネージャー サーバーの再起動	不要
エージェント サーバーの再起動	不要
アップデート成功の確認	DocAve コントロール パネル > 更新マネージャー > 履歴の表示 の順に進み、Governance Automation に関連した項目を選択してください。この操作により、必要なマネージャーとエージェントにインストールした更新内容が反映されているか確認することができます。

新機能と強化点

サービス要求を強化

- サービス要求の承認で Nintex Workflow が使用可能になりました。
- サイト コレクション ポリシーに権限洗い替え機能が追加されました。この機能の使用により、サイト コレクションの連絡先、もしくは関連するビジネス ユーザーが、サイト コレクションの内部コンテンツにアクセスできるユーザーまたはグループを定期的にレビューすることが可能になります。レビューを実行するユーザーは、レポートから直接権限を変更することができ、変更された権限は SharePoint に自動的にアップデートされます。
- 承認プロセスで、受け取った要求に承認者が変更を加えることが可能になりました。
- 承認プロセスを複数のサービス タイプに適用することが可能になりました。
- SharePoint のサイトで、選択状況によって自動的にサービス要求を起動する機能が追加されました。
- **すべてのタスク** インターフェイスで、IT 管理者がサービス要求を削除することが可能になりました。
- サイト コレクションのライフサイクル管理に使用条件を追加しました。これにより、ビジネス ユーザーがリリースを延長する際や、サービス要求 [サイト コレクションの連絡先の変更] を使用してサイト コレクションのオーナーになる際に、使用条件を確認できるようになりました。
- **設定 > 対応フォーム管理** インターフェイスに対応フォーム構成機能を追加しました。この機能を使用することにより、要求を送信したユーザーを適切な要求フォームに誘導することができます。
- 適用可能なサービスすべてにおいて、セキュリティ トリミングが可能になりました。要求を送信したユーザーが要求フォームで閲覧できるのは、自らが権限を持っているツリー ノードのみです。また、ユーザーが要求フォームに入力することのできる URL は、自らが権限を持っているサイトのものに限られます。

既存のレポートとサービスの強化点

- すべてのサービスが、SharePoint Online Standard インスタンスと SharePoint Online Dedicated インスタンスに対して使用できるようになりました。
- **サービスの作成** インターフェイスに、**親サイトのメタデータ値を継承する** オプションが追加されました。これは、この機能を使用して新規作成されたサイトに、親サイトのメタデータ値を継承させる機能です。
- すべてのサービスで、**設定 > メタデータ** インターフェイスで作成された Governance Automation メタデータを使用できます。
- **権限の付与** 機能に、一時的権限の設定を追加しました。

- コンテンツ移動サービスを強化しました。**ワークフロー** セクションに、**完成済みインスタンスを含む** オプションおよび **実行中のインスタンスを含める** オプションを追加しました。
- 各サービスに **スケジュールの日付** セクションを追加し、サービスの各要求を実行するスケジュールを構成することが可能になりました。
- **ライブラリ / リストを作成** サービスに **一括モード** セクションを追加し、単一のサービス要求で複数のライブラリ / リストを作成することができるようになりました。
- ユーザーが権限洗い替えタスク ウィンドウを閉じた後に再度開くと、Governance Automation が前回開いていたレポートの場所を表示する機能が追加されました。
- **承認プロセス** インターフェイスでサービス要求が編集され、かつ **すべての承認者によりサービス要求の編集を許可する** が選択されている場合、承認者が要求者に通知を送信できる機能が追加されました。

プラットフォーム管理の強化点

- Governance Automation Web API 経由でサービス要求の取得および送信が可能になりました。
- サイト コレクション ポリシーのインターフェイスに、**Policy Enforcer を有効にする** オプションが追加されました。この機能を使用すると、サイト コレクションに DocAve Policy Enforcer のルールを適用することができます。
- SharePoint 内部に存在するものの、Governance Automation によって管理されていないサイト コレクションもしくはサイトに対するスキャンが可能になりました。このスキャンはスケジュールを設定して実行することもできます。スキャンは **既存のサイト コレクションとサイトをインポート** の **エクスポート モード** で構成可能です。
- O365 サイトを管理する機能が追加されました。
- **サイト サービスを作成** インターフェイスで、複数の Web アプリケーションを範囲ツリーで選択することが可能になりました。
- ハイブリッド型環境の管理用に構成されている場合、**DocAve > コントロール パネル > SharePoint サイト** に登録されている SharePoint Online のサイトを取得する機能が追加されました。
- **設定 > ビジネス ユーザー機能のアクティブ化または非アクティブ化** インターフェイスに、ロール ベースのアクセス コントロール機能が追加されました。この機能では、ビジネスユーザーがランディング ページのどの部分を見ることができるかを指定可能です。
- **設定 > 構成データのエクスポートおよびインポート** インターフェイスに、Governance Automation の構成データ (グローバル設定、承認プロセス、ポリシー、サイト コレクション作成サービス、サイト作成サービス) を異なる環境間で管理する機能を追加しました。

- **個人用サイト** に、ログインしているユーザーが連絡先、もしくは代理の連絡先になっているサイト コレクション およびサイトのリストが表示される機能が追加されました。
- **個人設定の構成** インターフェイスに、Governance Automation のタイムゾーンを構成する機能が追加されました。
- サイト コレクション ポリシー インターフェイス内の **サイト コレクション ライフサイクルの管理** に、**自動ロックと自動削除を有効にする** オプションが追加されました。この機能を有効にすると、ユーザーが構成したルールに従って、サイト コレクションをロック、および削除します。
- **サイト コレクション ポリシー の DocAve 構成** インターフェイスに、**どきゆなびの機能を有効にする** 機能が追加されました。この機能を使用すると、Governance Automation によって管理されているサイト コレクションが、ファイル シェア内のコンテンツへのリンクをホストすることが可能になります。
- Governance Automation にログインする際、5 回連続でパスワードを誤入力すると、そのアカウントは 15 分間ロックされます。

UI に関連する強化点

- **Governance Automation メニューバーを隠す** オプションが、Governance Automation Web パーツの **設定** インターフェイスに追加されました。この機能を使用すると、Web パーツ インターフェイスで Governance Automation のメニューバーを隠すことが可能になります。
- 画面に表示されるタイルの数を画面サイズに従って自動調整するなど、ユーザー インターフェイスの応答性を向上しました。
- メニュー バーにピン ボタンを追加しました。使用すると、メニュー バーを固定位置に置くことができます。
- 異なるステータスをアイコン別に表示することにより、要求ステータスの表示ディスプレイが見やすくなりました。
- インストール インターフェイス上に表示されるリンクから、Governance Automation のリソースにアクセスすることができます。
- サイト コレクション レポートおよびパブリック サイト コレクション ディレクトリ インターフェイスに **クォータ テンプレート** と **クォータ サイズ (GB)** 列を追加しました。
- **サービスの作成** インターフェイスに、サービス タイプの内容を表すインフォメーション アイコンを追加しました。

既知の問題

- Governance Automation が複数の DocAve マネージャーに登録されている場合 (複数の DocAve を複数の異なる環境の管理に使用している場合)、Governance Automation のアップグレードはサポ

ートされません。**DocAve_Update_for_Governance_Automation_1.x** アップデートが正常にインストールされない場合は、以下の回避策を参照してください。

回避策 1: アップデートを再度適用します。**DocAve 管理 > コントロール パネル > アップデート管理** の順番に移動し、**DocAve_Update_for_Governance_Automation_1.x** アップデートを再インストールしてください。

- **回避策 2:** アップデートを手動で適用します。
 1. **DocAve_Update_for_Governance_Automation_1.x.zip** ファイルを展開します。
 2. **DocAve_Update_for_Governance_Automation_1.x** フォルダで、**AgentPatch.zip** ファイルと **ControlPath.zip** ファイルを展開します。
 3. DocAve エージェント サービスがインストールされているノードで、…**AvePoint¥DocAve6¥Agent¥bin¥GovernanceAutomation** に移動し、**AgentPatch** フォルダ内部のファイルを **GovernanceAutomation** フォルダにコピーします。
 4. DocAve コントロール サービスがインストールされているノードで、…**AvePoint¥DocAve6¥Manager¥Control¥bin¥GovernanceAutomation** に移動し、**ControlPath** フォルダ内部のファイルを **GovernanceAutomation** フォルダにコピーします。
 5. DocAve がインストールされているノードで、DocAve コントロール サービス、DocAve エージェント サービス、その他関連するアプリケーション プールのステータスをチェックします。これらがすべて実行中であり、かつDocAve マネージャーがアクセス可能な状態にあることを確認します。
 6. Governance Automation がインストールされているノードで、Governance Automation タイマー サービス、Governance Automation ワークフロー サービス、その他関連するアプリケーション プールのステータスをチェックします。これらがすべて実行中であることを確認します。
- 対応フォーム機能は、Internet Explorer 8 では使用することができません。
- 複数の言語パック、もしくは複数言語のサイト テンプレートがインストールされたサイト コレクションのインポートおよびエクスポートにより、エクスポート先でエラーが発生する可能性があります。エクスポート先とエクスポート元に同一の言語パックがインストールされていることを確認してください。
- インストールの間に DocAve タイマー サービスが実行されていない場合、Governance Automation のインストールは失敗します。
- コンテンツ移動サービスでセキュリティ トリミングがオンになっており、要求者が移動元サイトにアクセスする権限を持つものの、その中の移動元リストにアクセスする権限を持っていない場合、その移動元リストは要求が実行された段階で移動先のノードにコピーされます。セキュリティ チェックをアイテム レベルにまで適用すると、パフォーマンスに問題が生じます。

対処法: **コンテンツ移動** サービスで、**セキュリティをコピーする** を選択します。この操作により、移行元ユーザーの権限が移行先にコピーされ、要求者は移行先の子ノードに対する権限を持たないことになります。

- 代替アクセス マッピング (AAM) URL は、サイト コレクションのコンテンツ移動サービス要求に対して無効です。これは、SharePoint Online Dedicated インスタンスが、代替アクセス マッピング URL のユーザー名とパスワードを取得できないためです。

対処法: 要求を送信する前に、DocAve のサイト コレクションの代替アクセス マッピング URL を登録してください。

- ライブラリ / リストを一括で要求する際、CSV ファイルに日本語でテンプレート名が入力され、その後 Governance Automation にインポートされると、Governance Automation のインターフェイスではインポートされたデータが表示されません。これは、CSV ファイルが ANSI を使用してエンコードされていることに起因します。

対処法: CSV をメモ帳で開き、エンコーディング タイプを Unicode に設定して保存します。

- サイト コレクションのアンロック要求を行う際、URL 検証はサイト コレクション レポートとパブリック サイト コレクション ディレクトリに制限されます。これは、サイト コレクションがロックされている場合、一部のプロパティが取得できないという SharePoint API の制限によるものです。
- Internet Explorer を使用して Governance Automation Web パーツにアクセスするとエラーが発生する場合があります。この問題については、**インターネット オプション > セキュリティ タブ > 信頼済み サイト** へ移動し、Governance Automation の URL (例: https://10.2.4.43) を信頼済みサイトへ追加します。URL を指定する際は、ポート番号の設定は不要です。

通知

本書に含まれる内容は AvePoint Japan が所有かつ提供し、AvePoint Japan およびライセンス所有者に帰属します。本書の内容は著作権および商標登録およびその他所有に関わる法律によって保護されます。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権

Copyright © 2012-2013 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複製、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10-18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。

登録商標

AvePoint®、DocAve®、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Microsoft Office SharePoint Servers 2007/2010/2013、SharePoint Portal Server 2003、Windows SharePoint Services、Windows SQL server、および Windows はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更

本書の情報は情報提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

AvePoint Japan 株式会社
〒108-0074
東京都港区高輪 4 丁目 10-18
京急第一ビル 11 階